

が、その一方では公務員の給与、年金の引き下げ、来年四月より消費税の増税が行われます。我々年金生活者が安心して老後を送れる社会を実現して頂きたいものです。

我が熊本県・市に目を向けて見ますと、熊本市が政令指定都市に昇格して三年目を迎えました。熊本城が全国版のお城として大変な賑わいを見せており、熊本県・市も順調に発展している様子です。また、くまモンが全国各地・外国まで進出し、大変な人気振りで熊本県を全国にPRしているようで、熊本県民として大変嬉しいことです。

県退職教頭会の各委員会の活動を年度途中ではありませんが、簡略して申し上げますと、組織・特別（叙勲関係）の組織拡大では、昨年度八名、今年度は三名の先生方が本会に加入して頂き、この近年では珍しいことです。新会員の先生方の入会を暖かく歓迎し、若いエネルギーと息吹を本会に吹き込んで頂きたいものです。

特別（叙勲関係）では十二月二十日（金）に会長・副会長・事務局長・各委員長八名で県教育庁教育政策課に「死亡叙位叙勲の復活」について陳情に行きました。この課題は大変難題で、直ぐに実現する訳ではありません。全国・他都県退職教頭会と連携を取りながら、全国では文部科学省に、地方では県・市町村教委、また、県選出の国会議員等に根気強く陳情していくことが大切ではないかと考えます。

研修関係では、今年度は熊本日日新聞社を見学し、新聞記者が記事を取材し、新聞が完成するまでの過程、完成して我々の家庭に届くまでについて研修しました。素晴らしい企画で大変良い研修であったと思います。

福利・厚生面では米寿・喜寿の方々に賞状をやり、大変喜ばれ、感謝されております。また、ご逝去された会員の皆様方には弔電等をきちんと打ち、葬儀等にもできる限り参加し、大変遺族の方々から感謝されております。編集関係では手作り年一回会報の発行。今年度は一回発行済み。記事内容、編集とも大変素晴らしい会報の発行で会員の皆様からも大変好評で喜ばれております。

ボランティアでは、今年度も十二月一日（月）～四日（水）に中山晃子氏と徳永信雄会長が熊本市の上通り入口のビブレス広場前で歳末助け合い募金活動を実施しました。募金額は三日間で三三、三九九円でした。募金は熊本善意銀行に寄付し、大変当行からも喜ばれております。

その寄付金は金額の多少にかかわらず、恵まれない人達や子ども達のために使われております。つまり、私達退職教頭会の存在価値を高め、社会貢献をしている訳です。趣味の会ではいろいろあり、楽しくそれぞれ頑張っておられます。会員の皆様方、良いお年をお迎えください。

趣味の会「パソコン」活動報告

報告者 長谷川 孝

今年度のパソコン研修は現在のところ一回も欠けることなく、毎月一回必ず実施してきております。その内容はテーマを決めず、各自が疑問を持ちうる形で、その問題解決のために、お互いが知っている事を教え合い、学び合い、どうしても解決出来ない時は海津先生に乗り出

してもらい、それぞれがそれらの問題を自分のものとして身につけていっています。およその内容としては、エクセルで案内状等の文章を作るにはどうすればよいか。文章の中に写真を挿入するにはどうすればよいか。写真の中に文字を挿入する方法等をやってみました。

ただ、問題はそれぞれが違う型のパソコンを持ちよって参りますので、教え合うとき自分のと違うパソコンで操作に戸惑う事もしばしば、最後はこれも海津先生にお世話になることがたびたびありました。ここで学んだことはこの会報誌作成に大いに役立っています。

この研修の良さは新しいことを学び、指を使つたこと、頭の活性化が出来ること、わたしにとっては、ここに集まってくる先生全てが人間的に素晴らしい人達ばかりで、気兼ねなく話が出来る、参加することでボケ防止にもなっています。また、この部屋にくると、いつも事務局の前田健次郎先生によつてエアコンを入れていただいております、すぐに温かくて美味しいお茶を出して頂きほっと息つけ、深く感謝しております。より若い先生の参加が欲しいところです。

山口県

会長あいさつ 会長 松岡 睦彦

例年のように梅雨の時節となっておりますが、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にて日々ご活躍のことと存じます。私事、僭越で力不足ではありますが、去る六月六日（木）セントコア山口で開催されました新役員会議の役員選出で会長に選出されました。先輩の

会長方には及ばないかと存じますが、できる限りの努力をしたいと思っておりますので、ご指導ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、国内外では、ここ数年来、不穏な社会生活をはじめ、経済的にも不景気が続いて、暗いニュースが報道されてきました。今年の六月に入った先日、わが国にとつて大変明るいニュースが報道されました。その一つは、北アイルランドで開催されたG8サミットで「日本の成長は、短期の財政刺激策、大胆な金融政策、成長戦略に支えられている」と、「アベノミクス」が評価されたことです。つぎに、カンボジアのプノンペンで開催された国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産委員会で日本を象徴する山「富士山」が、文化景観として三保の松原を含め国内十七件目として、世界遺産に登録されたことです。七月には参議院議員の選挙も予定されています。政局の舵取りは、国民の手中に委されています。積極的に関わっていききたいものです。

第二次世界大戦の敗戦から、はや六十八年になろうとしています。昨今、国会で憲法改正が論議されていますが、再度、現行の「日本国憲法」を熟読していただきたいものです。現行の憲法は、敗戦直後の国際連合軍総司令部の管理下で、厳しい査定を何度も受けながら、当時の憲法学者の英知を集約して、総司令部を納得させるために練りに練ってわが国の思いを巧みに取り込んだ憲法となっております。専門職の法律家の皆さんをはじめ政治家の皆さん・法律学者の先生も、現行の「日本国憲法」の精神とその真意を間違えなく熟読して解釈していただきたいものです。その後、最高法の憲法の根本精神について議論を極めていただきたいと思っております。

その一つは、「一票の格差がどうして違憲になる」のでしょうか。現行の憲法のどこにうたつてありますか。少数意見を尊重しながら多数の意見に従うのが民主主義ではないのでしょうか。少数意見を切り捨てれば民主主義の根本が崩れてしまいます。

現行の憲法は、現在どこの国にも存在しない「理想の憲法」だといえます。それゆえに、現実の世界にはふさわしくない箇所もあることは確かです。だからといって、民主主義の原理を理解しないで、むやみに改めて良いはずはありません。もつと、民主主義の原理・根本をしっかり勉強し直して議論をし、判断及び判決をしていただきたいと、切にお願いいたします。

憲法論議はさておきまして、今年三月に退職された先生方は十二名で、再度入会の方は一名をあわせて十二名の方が入会されました。新しい仲間ができて、大変嬉しい限りです。ともども手を取り合い励まし合つて、今後の有意義な人生を歩んで参りましょう。

長崎県

書と私

長崎・西彼支部 戸川 美保子

今日、文明の利器「パソコン」を使い、様々な書体を様々な大ききで検索でき、あらゆる場面に適応させることができています。毛筆体においてさえも例外ではありません。

それなのに今何故、私が書道を始めたのかといいますが、手紙の宛名書き、冠婚葬祭の表書きや挨拶状書き等に恥ずかしい思いをせず、書生活を豊かなものにした

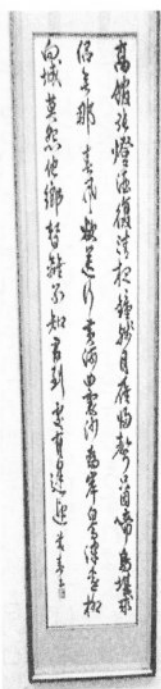
いどの願いでございました。十年ほど前から、高名なお師匠さんの下に入門し、漢詩の行草体、和歌のかな書きや臨書体を丁寧なご指導を頂きながら練習に励んでおります。

書道の母国は中国ですが、日本からは遣唐使や仏僧たちが中国に渡航し、唐時代の王羲之の書体を熱心に学び、日本に持ち帰り、漢字や仮名を日本の風土に密着させながら創り上げ書道として発展させてきました。「書は人なり」といわれます。筆をとつた瞬間から雑念を排し、たつた二回切りの筆の動きに頼り、真剣勝負の一筆で書くので、自分の内面がそのまま表現されてきます。だから、書道は魂を磨くという役割も持っています。鑑賞する時、心を大切にしたい日本人の伝統文化に触れる喜びがあります。

その中で私は最澄、空海、良寛そして同郷の副島種臣（佐賀藩出身の幕末の志士であり書家）の作品に心酔しています。

しかし、今日本人にとつて大切な伝統文化になつていく書道ですが、中国との関係が、大変厳しい状態になっているのが心配です。魚釣島の領有権争いに起因しているのですが、私は、中国や韓国等の近隣諸国と仲良くし、文化、経済ともに発展させ交流を深めていきたいものだと思います。

一日でも早く日中関係の改善を切に願っている者の一人でございます。



研修部より

「これからの学校教育を考える」という提言集の原稿を本年も引き続きお願いいたします。

政府の教育再生実行会議では高度な人材育成を促す為の分科会を立ち上げております。教育の大きな方向性を議論するものです。大きな方向性として

- ① 高齢者の活躍支援
 - ② 質の向上
 - ③ 財源確保等の課題設定
- を進めております。

私たちの全国退職教頭会としても体験的なことや優れた知見を通して地域の魅力を発信し教育活動への提言を続けております。今までは

- 学校五日制と六日制
- 体罰と教育
- 学校規模と学力
- 教育委員会制度

○ 全国学力調査の学校別成績の公開の是非
以上のことを中心に纏めておりましたが社会の変化は早く、更に教育界は、その先を考えねばな

りません。また、流れのはいい教育界の実態を見ますと「ベテラン教師の大量定年退職」、そして若手教員の思わぬ速さで増えている現在、単なる教育の現状を語るだけでなく、私たちが現場を見たり、聞いたり、考えたりした「なにげない実践例」はとても重要なことのように思えます。

この会報六十号には退職教頭という体験を踏まえた教育への関心と人となりが増み出ている文章が多く見られます。気を付けて読み深めれば教育再生実行会議が求めている「大きな課題」が見えてくるのですが、私たちは更に地方の教育再生を通して提言出来ればと存じます。

各県支部の研修は

- ① 施設の見学研修
 - ② 趣味特技を通しての生活実態
 - ③ 個人やグループでの社会貢献活動
 - ④ 退職後の教育雑感
 - ⑤ 人間形成のあるべき姿
 - ⑥ 生きがいを求めて地域の生涯学習
- に取り組んでいる姿等 具体的に述べられています。
- これらの各県支部での体験を文科省では
- ① 教育システムのあり方としては？
 - ② 小中・中高の一貫教育は？

- ③ グローバル時代の英語教育は？
- ④ 開かれた教育とは？
- ⑤ 幼児教育や大学の在り方は？
- ⑥ 〇の取り扱いとは？

このことを踏まえて私たちの「これからの教育」という提言集に纏まれば良いと考えています。

全国への提言としては文科省のすすめる「グローバル化」と「ネット社会」を意識して情報の共有化を図ることで。

本年度の代議員大会では資料を準備しての情に努力をお願いします。各都県支部で発行している広報紙の配布は財源的に無理のようですが会報の紙面で対応していただきたいと存じます。最後になりますが、「ネット社会」を活用しての相互交流は発展的に考えていきたいところです。

「これからの教育を考える」ために、地方からの発信された教育の在り方やシステムを力強く発展できるよう、教頭経験者の目で見えた地方の教育の実態を広げていきたいと存じます。

本年提言集第七集を発行する予定でしたが諸般の事情により纏められなかったことをお詫び申し上げ更なる発展に繋がるようご協力のほどお願い申し上げます。

事務局便り

事務局長 荻野 由男

今年を振り返って見ますと、雪国で無いのに大雪に悩まされた地域。猛暑に見舞われた地域。雹が大量に降った地域。集中豪雨による土砂災害を受けた地域。竜巻の被害を受けた地域。地震による被害を受けた地域など。気候変動によると視られる災害が後をたちませんでした。もし被害をお受けになった方が居りましたら本部事務局までお知らせください。

皆様方には、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

いつも全退教の諸行事にご協力頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。今年度お渡しいたしました代議員会議案書・支部組織表・会報五九号の訂正をお願いいたします。

訂正やら変更が多くて申し訳ありませんが、今後気をつけて進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。